

## 目標達成計画

作成日: 平成21年12月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	運営推進会議への家族の出席が少ない。多くの家族が出席し、活発に意見交換ができるような工夫が必要。	多数の家族の出席を促し、利用者の視点に立った助言をしていただく。	①地域密着型サービスの特徴と運営推進会議の役割を理解して頂くよう広報誌等で説明を行う。②具体的な会議の内容を家族の訪問時に説明し参加を促す。③開催前にご家族に文書を配布し議題等を予めお知らせし気軽に参加いただけるよう配慮する。	12ヶ月
2	5	内玄関が自動ドアになっており(利用者は自由に開けられない)、現在限られた時間帯でのみ玄関の開放をおこなっている。	午前9時から午後4時までの間、1F自動ドアの開放を行う。	①全職員に「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」について正しく理解させる。②センサー等の取り付けはしない。職員は離脱されようとする利用者の傾向や気配をつかみ、外出される場合はさりげなく同行する。③運営推進会議において意見を聞く。	6ヶ月
3		現在外部発注の給食を提供しており、1週間に1回事業所内での食事作りを行っている。そのため利用者の食に関する関わりが少ない。	1週間に2回食事作りを行う。	①利用者と職員と一緒に準備・食事・片付けを行うことの大切さを全職員が先ず理解する。②利用者自治会での利用者自身の意見を参考にしながら、食事を楽しむ環境づくりを整えていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。